

令和7年度西脇市まちづくり推進審議会で協議したいことについて（まとめ）

	委員名（敬称略）	記述内容
1	松尾 憲子	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについて市で活動している団体、グループの活動内容や要望などが共有できる場所づくり ・連携をどのようにしていくか
2	松山 千鈴	<ul style="list-style-type: none"> ・市民目線で「将来西脇市をどんなまちにしていきたいのか」について協議し、分かりやすいキャッチコピーにして示して市（市長）に提言する。 ・まちづくり活動に参加した人に記念としてシールを配布する等の取組をしていきたい。
3	森川 元良	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層への周知方法（興味喚起） ・自治協議会役員等の研修（後から参加した人がまちづくりに参画するための研修） ・ふるさと納税をCSO団体へ分配する仕組みの導入→市の助成金以外の資金調達方法の確立
4	来住 啓子	<ul style="list-style-type: none"> ・「西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例」に基づくまちづくりについて（こどもの社会参加、地域における子育て支援、こどもの居場所づくり など）、市民主体でできることを考えていきたい。
5	高澤 有可里	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくりのとびらをあけてみたら」の配布状況や認知状況を知り、今後どう広めていくか。また広めるだけでなくどのように活用していくか
6	竹本 愛	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に控えた西脇市議会議員、市長選挙に向けて、投票率をどのように上げるか ・「香書」について知ってもらうには
7	田中 美紗子	<ul style="list-style-type: none"> ・参画と協働のまちづくりのさらなる推進のための広報戦略について（例えば（例）書いてあるリーフレットの活用方法の検討ですが、これにとどまらず汎用性のある広報活動について まず、市民が情報を取りに行かなくても、市民に届くところ（から）、のイメージ
8	西山 桂	<ul style="list-style-type: none"> ・防災安全課から、各家庭に配布されている「防災マップ」ですが、さらにもっと具体的に自分の家庭でできる準備、備え、避難先など分かりやすくそれぞれ可視化できないかの検討（例）独居高齢者の場合は担当ケアマネとの連携、インスタグラムの活用、子育て世帯の備え具体例 など
9	堀井 悠次	<ul style="list-style-type: none"> ・立場や世代を問わず、誰もが気軽に声を出せる“対話の場”の在り方について ・雑談、井戸端会議のような「テーマを決めない集まり」の可能性 ・市民のリアルな声を吸い上げ、まちづくりに反映させる仕組みの検討

※順不同、原文ママ